

昆虫テクノロジー企業 ムスカ初、個人向け園芸肥料をクラウドファンディングにて先行販売開始！！

新商品の先行販売『ハエが地球温暖化を救う！？昆虫技術を使ったハイスピード生産プロセスの有機肥料』

株式会社ムスカ（MUSCA Inc. 代表取締役CEO 流郷綾乃、以下MUSCA）は、環境と美味しいにこだわる農家さんから選ばれたサステナブルな有機肥料を個人向け園芸肥料としてクラウドファンディング「Makuake」にて先行発売を開始いたします。



ハエの力を活用して地球と共創する未来へ

SDGs、サステナビリティ、エシカル

これらの言葉は企業や国、自治体レベルでの活動から、レジ袋やストローなどの生活に身近なところまで、徐々に皆さんの当たり前になってきているのではないのでしょうか。

この度、環境と美味しいにこだわる農家さんからご使用いただいている有機肥料を個人向け園芸肥料としてご提供するのは、まさにサステナブルな社会を実現するための有機肥料。

▼サステナブルフード有機肥料とは？



サステナブルフード有機肥料

この肥料づくりは食糧問題と有機廃棄物処理問題の解決につながり、しかもそのプロセスにおける温室効果ガスの発生を大幅に減らすことができます。

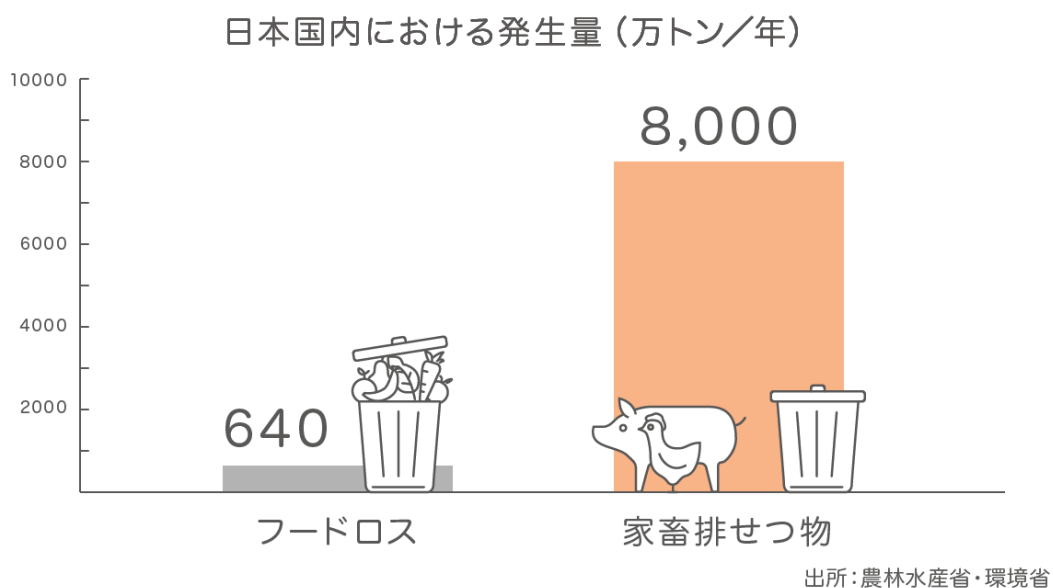
▼なぜ一週間？！「一週間で世界をすこし良い未来へすすめる肥料」

昆虫の力を活用し高効率なバイオマスリサイクルシステムで1週間で肥料と飼料に転換するシステムを開発する株式会社ムスカ。まさに一週間は私たちムスカを象徴する言葉なのです。

一般的な有機肥料の作り方は、微生物を使うと数ヶ月～数年かかる堆肥化処理と言われるものです。それをムスカ独自のイエバエを活用することで、なんと1週間で終わらせることができます。そして同時に家畜のエサとなる飼料もできあがります。

▼温室効果ガスの発生が少ない肥料生産

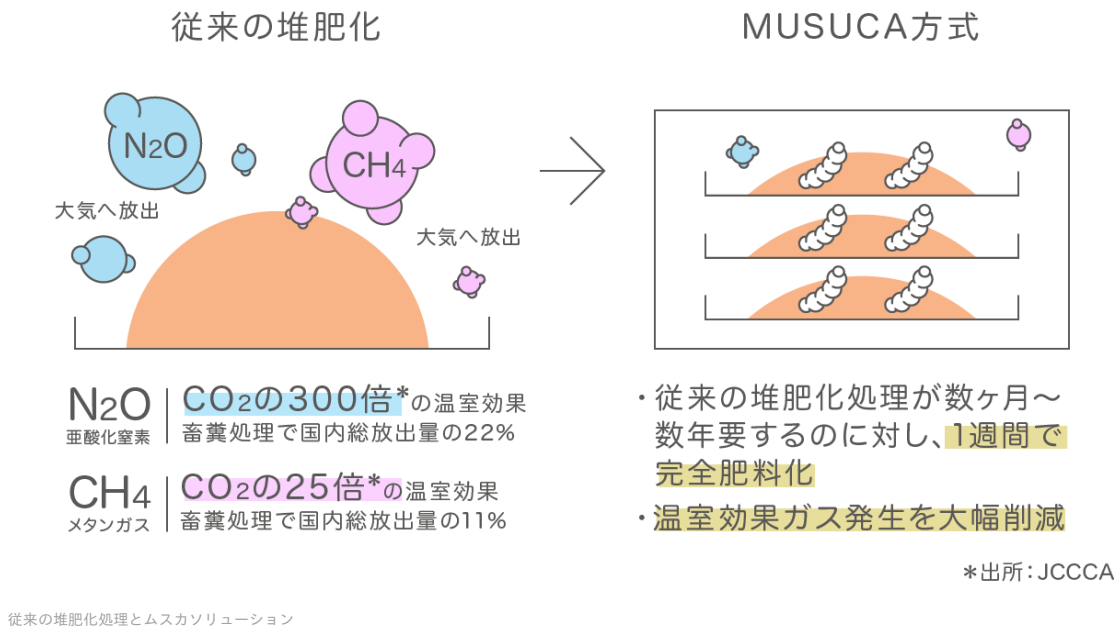
年間8,000万トン、東京ドーム約61個分。これは日本国内で年間に排出される畜産糞尿の量です。フードロスは年間640万トンですから、実に12倍以上に上ります。



日本国内における発生量

そして、この年間8,000万トンの畜産糞尿の処理過程で発生する温室効果ガスが、地球温暖化の一因になっているのです

畜産糞尿は堆肥化させることが法律で義務付けられていますが、その処理の過程で発生するメタンガスと亜酸化窒素は、それぞれCO2の25倍と300倍の温室効果があり、畜産糞尿の処理過程での放出量が国内総放出量の11%と22%に及ぶことが、全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)の調査で明らかになっています。



新型コロナの影響により、たくさんの方が今までとは異なった日常を過ごしていることと思います。この状況により、私共も思うように事業が進まないことも多々あります。しかし、この状況だからこそ、新たなことにチャレンジする意義をすごく感じております。

ムスカの新しい取り組みとして、ムスカ有機肥料を個人向け園芸肥料として、クラウドファンディングにて先行販売させていただくことが決定いたしました。自宅で過ごすことが多くなってきている昨今、ムスカからサステナブルな「おこもり園芸」の提案をさせていただきたく思います。昆虫（ハエ）の力でとても良い肥料に仕上がっています。みなさんの美味しい野菜やハーブづくりを楽しむお手伝いができたら嬉しく思います。



代表取締役CEO 流郷綾乃

【ムスカ会社概要】

約50年間、1,200世代に及び優良種を選別交配したイエバエの種を活用し、1週間で有機廃棄物を飼料と肥料に分解する超効率バイオマスリサイクルシステムを開発。生成される飼料については、魚類を用いた実験により耐病性付与及び増体効果が、肥料については、主要な植物病原菌に対する抗菌作用が、いずれも大学との共同研究により確認された。価値の低い廃棄物から高い機能性を持つ飼料及び肥料を効率的に生成するこのシステムをいち早く商業化し、究極の持続可能な循環型社会の実現を目指す。

会社名：株式会社ムスカ（MUSCA Inc.）

所在地：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-8-3-8F（本社変更しております）

代表者：代表取締役CEO 流郷 綾乃（りゅうごう あやの）

MUSCA Inc.のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/30554

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ムスカ 広報担当：小河原

電話：050-5357-2816 メールアドレス：pr@musca.info